

令和8年(2026年)9月16日

報道関係 各位

真庭市役所

地域の持続可能性の確保に向けた 郵便局の利活用推進事業 実証事業開始セレモニー の開催について

日時▶ 令和8年9月29日(火) 午後3時～

場所▶ 二川郵便局(岡山県真庭市粟谷118-3)

総務省が実施する「地域の持続可能性の確保に向けた郵便局の利活用推進事業」の実証事業において、真庭市で行う実証事業が採択されました。本事業は、地域課題の解決と持続可能性の確保に向け、郵便局を行政サービスや住民生活支援サービスを一元的に提供する「コミュニティ・ハブ」として活用し、モデルケースを創出する取組です。

真庭市では、郵便局を拠点として「医療×行政×物流」の多機能コミュニティ・ハブの構築を目指します。

岡山県初の取組となりますので、ぜひともご取材くださいますようお願いいたします。

概要▶

1.日 時 令和8年9月29日(火) 午後3時～

2.場 所 二川郵便局(岡山県真庭市粟谷118-3)

3.出席者 総務省、日本郵便(株)、アクシスITパートナーズ(株)、真庭市ほか関係者

4.プログラム 別紙のとおり

5.その他 取材をご希望の場合には、関係者に共有させていただくため、
下記お問い合わせ先にご連絡ください。
また、駐車場が限られますので別紙関係者駐車場をご利用ください。

お問い合わせ先・発信元▶

真庭市地域みらい創生課(担当:中島)

TEL0867-42-1179 FAX0867-42-1353

2 プログラム構成

(14:00～設営開始)

9/29(火)	14:30	メディア受付開始(郵便局入口付近)
	14:45	関係者による会場の事前見学
	15:00	開会
15:00 (05分)		事業概要説明・実証事業代表挨拶 (アクシスITパートナーズ代表取締役)
15:05 (03分)		挨拶(総務省菅野様)
15:08 (06分)		コンソーシアム各代表挨拶 3分×2名 (真庭市、日本郵便)
15:14 (08分)		関係者紹介+代表あいさつ(デマンドのみ) (二川ふれあい、商工会、湯原温泉病院、スミダ商店、郵便局関係者)
15:22 (03分)		出席者によるテープカット
15:25 (02分)		閉会

出席者によるテープカット

左から以下の順で参列いただく(予定)

①二川ふれあい地域づくり委員会 会長 **(※地域も兼ねて)**
 ②アクシスITパートナーズ(株) 代表取締役
 ③真庭市長
 ④日本郵便(株) 中国支社長
 ⑤総務省地域貢献推進官様

① ② ③ ④ ⑤



郵便局関係者

美作地区連絡会地区統括局長	大崎郵便局長	下山 成人	しもやま しげと
備中西部地区連絡会地区統括局長	成羽郵便局長	飯芽 繁夫	いいが しげお
美作地区連絡会地区副統括局長	湯原郵便局長	金定 和宏	かねさだ かずひろ
美作地区連絡会副部会長	二川郵便局長	築山 祥昌	つきやま よしまさ

2 プログラム構成 (デモンストレーション)

15:30 (05分)	デモンストレーション準備・接続
15:35 (05分)	実証サービスの全体像説明
15:40 (03分)	個室ブース案内
	デモンストレーション開始
15:43 (02分)	買い物支援事業の紹介(説明のみ)
15:45 (02分)	オンライン診療事業の紹介(説明のみ)
15:47 (05分)	オンライン行政窓口のデモ
15:52 (13分)	デモ終了・質疑応答
16:05	解散
16:10～	片付け

実証機器デモンストレーション(操作の様子を写真撮影)

ブース設置



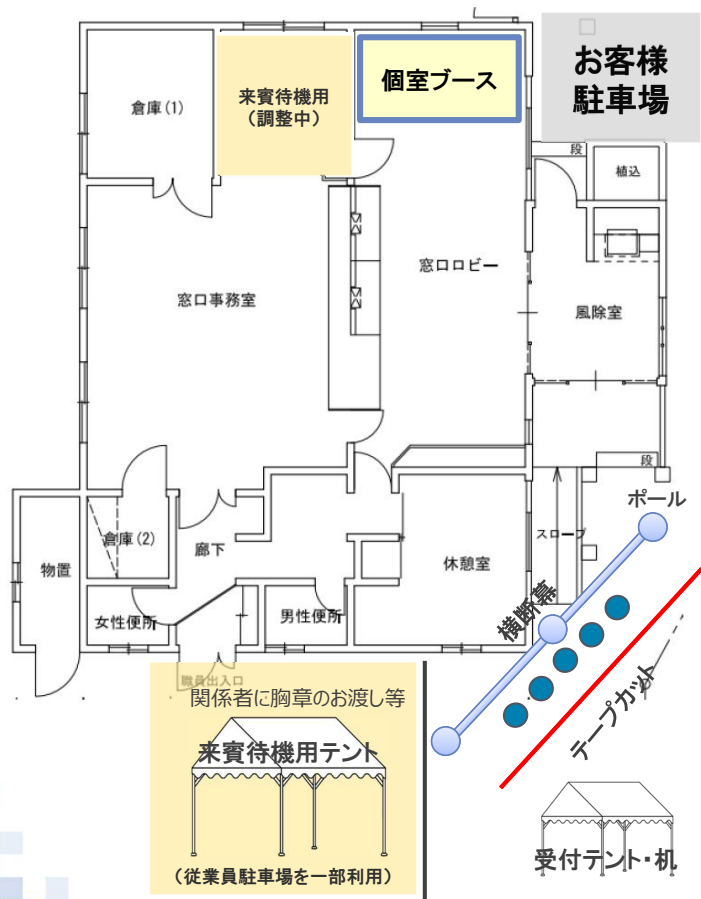
実証機器デモンストレーション(操作の様子を写真撮影)



ブース内の
機器を操作

※追加のブース撮影、質問があればお受けする。

4 会場イメージ(配置図)



県道

※メディア撮影が県道に入りかねないので角度や誘導が必要

参考：コンソーシアム体制案

Confidential

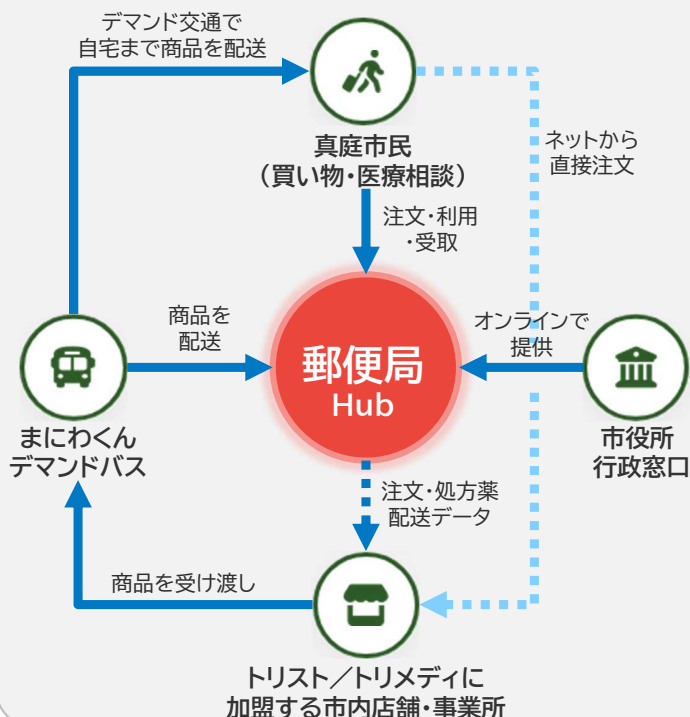
産学官の連携により、全国でも先進的な事例としての立ち位置を確立。医療・生活・インフラをデジタルで統合し、真庭市から持続可能な地域モデルを発信します。



参考：令和8年度実証事業全体像

IT技術を活用しながら湯原温泉病院や郵便局をコミュニティ・ハブとして地域の拠点として活用、貨客混載でローカル配送ネットワークの構築をするとともに、今後3年間の土台となる実証実験を実施します。

実証実験の全体像



郵便局・湯原温泉病院×有人支援 ×紙カタログ

加入店舗の商品を網羅した紙カタログを配布。

郵便局員が窓口で注文を丁寧にサポートし、デジタルが苦手な方も安心してサービスをご利用いただけます。



オンライン診療・服薬指導

郵便局内の一室を活用して受診が可能に。湯原温泉病院がオンラインで診療し、処方薬は「まにわくん」やデマンドバスで拠点や自宅まで配送。最短で翌日の受取を実現します。



オンライン行政窓口の常設

職員が接続を補助し、郵便局でモニター越しに市職員へ直接相談。マイナンバーや福祉相談など、「歩いて行ける市役所」として郵便局を活用。職員の業務効率化にも寄与します。



貨客混載・物流の真庭モデル

店舗から郵便局へは「まにわくん」を貨客混載等に活用。郵便局から自宅へはデマンド交通で「共助配送」。既存インフラをフル活用し、低コストかつ持続可能な物流網を構築します。

参考：郵便局の活用頻度

買物支援および行政窓口は時間内でお客様が来訪された場合にご案内。オンライン診療は湯原温泉病院の診療曜日・時間により決定しています。オンラインで接続するための機器は、MUSVI社のテレプレゼンスシステム「窓」を利用します。

	月	火	水	木	金	対象郵便局		備考
						湯原	二川	
買物支援	9:30～15:00頃を想定 オンライン診療の時間と重複しないように調整					○	○	PC/タブレットを操作支援しながら注文を支援
行政窓口						○	○	機器の接続準備 場所の提供
オンライン診療				15:00～ 16:00		○	機器の接続準備 場所の提供	



郵便局



「窓」同士で通信



病院/役所

テレプレゼンスシステム「窓」

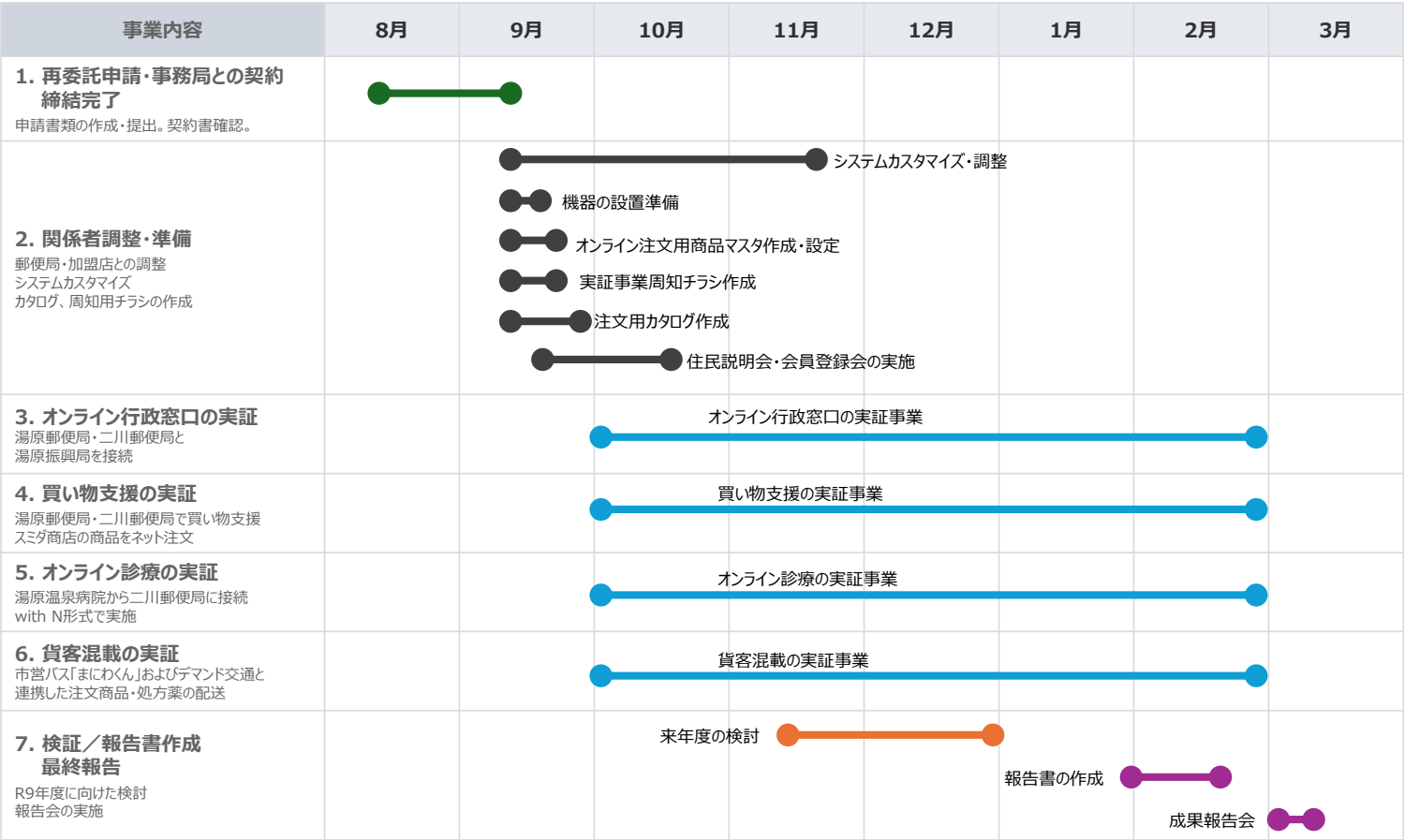


Confidential

※使用後の空のデリバリーバッグは湯原温泉病院に集め、廃送便等で回収。



参考：令和8年度実証ロードマップ



凡例： ● 準備・設計 ● 実証実施 ● 検討・評価 ● 報告